第 2014-42 号

恵みと真理のニュース

2014 年 10 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

親の重病を治してくださり魂まで救ってくださった神様の恵みを賛美します

私はイエス様を信じた後から親が救われるように 17 年間神様に祈りました。神様は祈りに答え切ない願を聞いてくださいました。
数年前ある日でした。母が父の耕運機事故を目撃する瞬間、脳出血で倒れてしまいました。村の人々の助けでジンジュにある大学病院で急に入院しました。しかし、2 週間ぶりにその病院では治療する方法がないと言われブサンにある大学の病院に移して入院しました。CT など様々な検査を受けて医師から頭の中で出血部位がたくさん膨らんでいて黒くなって完全に治るのが不可能のになりそうで２，３ヶ月間病勢を見ながら適当な治療の方法考えましょうと言われました。
　私が奉仕している病院宣教会で母をため祈るように願いました。そしてその日母の隣りで神様に祈りました。どころが、朝病室に入る妹に私はすぐ“母がここにいる患者の中で一番、早く体が回復して退院する”と言いました。“今座って立たれなくて一人でトイレも行けなくてスプーンも持つこともできないし言葉も出来ない母がすぐ病気が治って一番早く退院するなんて”病室の患者さんが母よりさらに体の状態が良い人々なので、私も知らずにこの話をしたことは本当に珍しいでした。妹はもちろん病室にいる患者と保護者達も珍しい事だという表情で私を見ました。
 車で運転して家に帰って来る時にそんな話をしたことがとても後悔になりました。“私がなぜそんな話をしたのか？母の今の状態で見たら可能な事ではないのに”その時に私の心に主の声が聞こえて来ました。“愛する子、私があなたの祈りが答えられなかった事があるのか？”考えてみると時期が問題で今まで神様に切に祈って答えられなかった事がないでした。それで母の病気も神様が治してくださることを確信して喜びと感謝する心で高速道路で泣きながら運転しました。嘘のように 2 週間後に母が一人で歩いて退院しました。今はとても健康になり農業と家事にも熱心で教会もよく通っています。ハレルヤ！
2011 年田舎にいる親を会いに行きましたが父が郷効で大賞を受けて幸運の鍵も受けた話を聞きました。それで“あ！”もう父の永遠の救いは不可能になったのかと思い落胆し絶望しました。この話を聞いた妻は朝断食祈りを始めました。その時から 1 年が過ぎて 2012 年 11 月のある日に妹から急に電話がかかってきました。父が農薬を飲料水のビンに入れておいたが間違ってそれを飲んでしまい今シンシュ大学病院に急に運ばれているところだという話でした。
その連絡を受けて前が見えなかったです。まず祈りからした後、急いで家に戻って服を備えシンシュに出発しました。行く時に父の血圧と脈が落ち自ら呼吸が出いなくて人工呼吸器をつけた状態で医師は家族に心の準備をすると言われたという話を聞きました。病院宣教会の会長と教区長に電話して会員達と区域の聖徒に祈りを頼み切なく祈りながらシンシュに向かいました。
“神様、父の年が 83 歳で少なくない歳ですが、まだ救われなかったので今、父の魂を死ぬと本当にかわいそうです。”
父は昔ザンユ聖殿で決信をしたのに神様を信じなかったです。それでもっと切なく父を赦してくださり哀れみを与えてくださいと泣きながら神様に祈りました。
一時間くらい過ぎって父がまだ意識がないですが血圧と脈は正常に戻ったと連絡を受けました。救急室に運ばれ十日ぶりに父は重病患者室に移しました。私はアンヤンの家で戻って来て 2 週が過ぎて面会を行った親戚から父 がおかしいという連絡を受けてまた急いで病院に行きました。父の姿は 惨憺たる状況でした。病状で暴力的になって足と腕はベッドで結んでいました。髪の毛は全部抜けられて目では恐怖映画で見られる青い光が出て変な音を出しながら私を記憶してなかったです。私は膝をまずいて父の体をとって悪い悪魔が退けるように祈りました。医師は農薬の成分が頭まで広がって退院しても真の精神で生活するのは難しいと精神病院を調べなさいと言われました。しかし諦めず月曜日の祈り会に参席して“神様、助けてくださった事も感謝します。完全に癒され人々に栄光を表すように導いてください。と祈りました。私の人生で一番切に神様に祈った事がないほど祈りました。どころが三日後に父を見たら目はまだ赤い状態でしたが眼から青い光は出なくて穏やかなになりました。そして 6 週ぶりに退院しました。
父をアンヤンで連れて来て妻が熱心に介護しました。今まで親を仕えなかった罪悪感でもっと心を込めて仕えました。父はなかなか寝られなくておかしい行動をして何も記憶できませんでした。父を教会に連れて来て牧師と伝導士に祈りを受け共に礼拝を捧げました。
 そして水曜日後　当会長に祈りを受け家に帰って来る道でした。急に父はここはどこ？私がなぜここにいるのか？とそのあとから父の精神が正常に回復しました。状態がよくなり再び田舎に戻ってそこで信仰生活をするように田舎で教会の牧師に父を願いました。父の健康が早く回復され、医師が心配した精神的な問題もないでした。
父は火のような性格と頑固で儒教的な思想で母と子供達とけんかが多かったです。しかしもう大きい病気を患って主を受け入れた後、性格も変わりました。穏やかな性品で変化されました。母は父と共に教会を通い仲良くなり今までの人生で一番幸せな時だと言われました。
神様は親の重病も治してくださり親の仲と子供の仲までよくなり心の傷も癒してくださいました。父は以前、漢方薬を運営しながら郷教で総務の仕事をしました。田舎で家の祭祀ともんちゅう墓のこと　儒教的な全ての事に熱心でした。しかし今は主を仕え熱心に農業をして今の父を見て人々はなぜ父が熱心に教会を通うのか珍しいと思っています。しかし、私はこの全てのことが神様の恵みです。
神様の恵みて生き返て健康を完全に回復され、また熱心に主を仕えるようになりました。家族の心で残っていた傷も癒され家庭の平和と愛が充満になりました。農薬を神様は命の水で変えてくださいました。親の救いのため 17 年間した私の祈りがついに答えてくださいました。　“二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。”（ 使徒行傳 16：31）アーメン
今まで同じ心で私と親のため祈ってくださった国内宣教会、病院宣教会員達教区、区域の教役者と聖徒の献身に感謝をします。私と聖徒のため祈ってくださる当会長の牧師の愛にも感謝します。　神様に全ての栄光を捧げます。

[信仰コラム]　あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい

テサロニケ人への第一の手紙，5:22

″預″あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい″と言うお言葉をよく見ます．取ることと捨てることを分別する知恵といっしょに取ることは取って捨てることは捨てる果敢な実践力がなければなりません．

第一，″あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい″と言ったがここで言う悪が何やらかよく見ます．
聖書には悪の基源に関して合理的な説明をしていないです．ただ人間が行うすべての悪の背後で活動する霊的な存在に関して明らかに啓示しました．その霊的な存在をサタンあるいは悪魔と呼んでいます．人類の先祖がサタンの誘うに堕ちて善悪を知る木の実を食べるなと言った神様のお言葉に不従順したので世界中は悪の存在であるサタンの支配下にあるようになりました．以後で人は自分が善悪を判断する主体になりました．これが人本主義です．善悪の判別基準を神様に置くのを拒否した人生たちは罪悪でいっぱいになった世の中を作りました．ノアの時に至って神様が世の中を洪水で滅ぼしました．ただ神様のお言葉を善悪の判断基準にしたノアと彼の家族たちは箱舟によって救いを得ました．ノア洪水の以後人々が生い茂り始めたがノアの神本主義の信仰を模範になる者が多くなかったです．堕落したアダムの子孫たちは人本主義の傾向を脱することができなかったです．
今日の人々は文明の発展を非常に誇らしく思います．このような発展が全面的に人間の知恵と力になったことと思います．神様を形式的に礼拝して俗事と楽しさに堕ちて生きて行きます．しかしその終局はいつも悲劇です．善悪の判別基準が人にいることそのものが悪です．善悪の判別基準が神様にいなければなりません．神様のお言葉を善悪を分別する基準にしなければなりません．悪に対する正義と概念が明らかではなくて正しなければ″あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい″と言う言葉をまことに実践することができなくなります．聖書が私たちに教える善悪の判断基準は神様のみ旨に適当なのかないか，神様のお言葉に適当なのかないかにあります．

第二，″悪のすべての模様″に対してよく見ます．
神様のお言葉を歪曲される者等の行為を弁護するとか助けることは悪のすべての模様″に当たります．異端に属した者等とともに宗教的行事をして彼らの宗教行事に参加することは皆″悪の模様″です．宗教多元主義者，宗教混合主義者，宗教一致主義者たちの団体の行事に参加することは″悪の模様″です．イエスキリストに対する信仰には中立がありえないです．二重的な行為やっぱり″悪の模様″です．宗教多元義の思想が正しいと確信して言う人は可憐であっても悪い人ではないです．一方では福音的な信仰を標榜して，一方では多元主義の信仰を標榜する機会主義的な行動をする人は悪い人です．
神様のお言葉を自分の本位で解釈して行動することやっぱり″悪の模様″です．神様のお言葉を自分の便利どおり適当に添削することは人本主義で行うのです．これを聖書は悪だと規定しました．神様と神様のお言葉を分離して思うことは許諾されないです．神様のお言葉を軽く思って自分の考えどおり行うことを聖書は悪だと規定しました．神様のお言葉を間違って教える者をかばう行為と彼らの宗教行事に参加するのが悪のみたいです．神様のお言葉を変えて信じて教えるのが悪のみたいです．　悪は当然に排撃しなければなりません．悪はすべての模様でも捨てなければなりません．

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

聖なる偉い決断と実践

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

アハブ王がイスラエル国を治める時にあった事です．アハブ王はシドン国王の娘，イゼベルと政略結婚をしました．イゼベルはバアルの予言者 450 人を連れて来ました．アハブ王はイスラエルの首都サマリアにバアル神殿を建築してその中にバアル祭壇を建てました．そうしてついにイスラエル国にはバアル神の崇拝がはびこるようになりました．この時に偉い予言者エリヤが登場しました．

ある日エリヤは予言者がアハブ王に行って言うのを **“ギレアデのテシベに住むテシベびとエリヤはアハブに言った、「わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。わたしの言葉のないうちは、数年雨も露もないでしょう」。”（列王紀上，17:1）** しました．その後三年半の日照りによってイスラエル地は貧土になって行って飢饉がひどくなりました．神様がエリヤにおっしゃるのを “あなたは行ってアハブに会いなさい私が地の上に雨を降るでしょう．” しました．エリヤが神様の指示を受けて決断してアハブ王に会いました．アハブ王がエリヤを見ると “イスラエルを苦しめる者よ” と責めて責任転嫁するものを言いました．エリヤは堂堂と答えました．“私がイスラエルをつらくしたのではなくイスラエルを亡びるようにする人は王の自分と家門です．王は神様の命令を捨ててバアルを仕えました．

“それで今、人をつかわしてイスラエルのすべての人およびバアルの預言者四百五十人、ならびにアシラの預言者四百人、イゼベルの食卓で食事する者たちをカルメル山に集めて、わたしの所にこさせなさい」。” エリヤはカルメル山の上で王と民が見るうちにバアルの予言者と対決しようと決心したのです．アハブ王は日照りと飢饉の被害があまりにも極甚な地境なのでエリヤの要求に素直に応じました．そしてその皆がカルメル山で集まるようになりました．

エリヤが民たちに叫びました．**“そのときエリヤはすべての民に近づいて言った、「あなたがたはいつまで二つのものの間に迷っているのですか。主が神ならばそれに従いなさい。しかしバアルが神ならば、それに従いなさい」。民はひと言も彼に答えなかった。エリヤは民に言った、「わたしはただひとり残った主の預言者です。しかしバアルの預言者は四百五十人あります　われわれに二頭の牛をください。そして一頭の牛を彼らに選ばせ、それを切り裂いて、たきぎの上に載せ、それに火をつけずにおかせなさい。わたしも一頭の牛を整え、それをたきぎの上に載せて火をつけずにおきましょう。こうしてあなたがたはあなたがたの神の名を呼びなさい。わたしは主の名を呼びましょう。そして火をもって答える神を神としましょう」。民は皆答えて「それがよかろう」と言った。”** 民たちが皆同意しました．エリヤがバアルの予言者たちに優先権を与えました．バアルの予言者たちが子牛を取って木の上において朝から昼まで休まないで “バアルよ私たちに回答してください．” して呼んだがどんな回答がなかったです．

そこで彼らは大声に呼ばわり、彼らのならわしに従って、刀とやりで身を傷つけ、血をその身に流すに至ったがどんな事も起こらなかったです．

いよいよエリヤの順番になりました．**そしてエリヤは　ヤコブの子らの部族の数にしたがって十二の石を取り、その石で主の名によって祭壇を築き、祭壇の周囲に種二セヤをいれるほどの大きさの、みぞを作った。．また、たきぎを並べ、牛を切り裂いてたきぎの上に載せて言った、「四つのかめに水を満たし、それを燔祭とたきぎの上に注げ」。また言った、「それを二度せよ」。二度それをすると、また言った、「三度それをせよ」。三度それをした。水は祭壇の周囲に流れた。またみぞにも水を満たした。** エリヤが祈りました．**“夕の供え物をささげる時になって、預言者エリヤは近寄って言った、「アブラハム、イサク、ヤコブの神、主よ、イスラエルでは、あなたが神であること、わたしがあなたのしもべであって、あなたの言葉に従ってこのすべての事を行ったことを、今日知らせてください。　主よ、わたしに答えてください、わたしに答えてください。主よ、この民にあなたが神であること、またあなたが彼らの心を翻されたのであることを知らせてください」。そのとき主の火が下って燔祭と、たきぎと、石と、ちりとを焼きつくし、またみぞの水をなめつくした。民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。”** と叫びました．

その時**エリヤが民たちにバアルの予言者たちを捕えよ。そのひとりも逃がしてはならない」。そこで彼らを捕えたので、エリヤは彼らをキション川に連れくだって、そこで彼らを殺した。エリヤはアハブに言った、「大雨の音がするから、上って行って、食い飲みしなさい」。アハブは食い飲みするために上っていった。しかしエリヤはカルメルの頂に登り、地に伏して顔をひざの間に入れていたが、彼はしもべに言った、「上っていって海の方を見なさい」。彼は上っていって、見て、「何もありません」と言ったので、エリヤは「もう一度行きなさい」と言って七度に及んだ。七度目にしもべは言った、「海から人の手ほどの小さな雲が起っています」。エリヤは言った、「上っていって、『雨にとどめられないように車を整えて下れ』とアハブに言いなさい」。すると間もなく、雲と風が起り、空が黒くなって大雨が降ってきた。アハブは車に乗ってエズレルへ行った。**そして極甚な飢饉と不毛の危機は劇的に解決されました．この事件は予言者エリヤの聖なる偉い決断と実践を見せてくれます．ここで私たちが学んで模範としなければならない要素たちを捜してみます．

第一に、エリヤは民たちにエホバ神様だけ仕えるように促しました．

エリヤが民たちに決断を要求しました．“なたがたはどの時まで二つの間でもじもじするつもりなのか？もしエホバが神様なら彼に付いてバアルが神様なら彼に付くべきだ．” 民たちは何の返事もしなかったです．バアルも仕えながらエホバ神様に対する信仰も持とうとしました．エリヤは民たちにこのような二重的で中立的な信仰態度を捨てるように促しました．聖書に啓示された神様はイエスキリストの神様です．イエスキリストを信じることがすなわち聖書に啓示された神様を信じるのです．“イエスキリストを信じます．” という言葉は “イエスキリストだけ信じます．” というみ旨ではなければなりません．

十戒命の第 1 戒命に **“あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。”** 言いました．**“「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。”** とイエスキリストが親しくおっしゃいました．

二番目で、エリヤは神様のみ旨に適当な同期と目的に切に求めました．

エリヤの祈祷は四種類に圧縮されます．これは私たちに祈祷の同期と目的に対する立派な模本になります．1）エホバ神様がイスラエルの本当に神様なのを全民が分かるようにしてくれと言ってしました．2）自分が神様のしもべのが分かるようにしてくれとしました．3）自分の行為が自意的なのではなく神様のお言葉に根拠したことなのを民たちが分かるようにしてくれと言ってしました．4）そして民たちが悔い改めて神様位に帰って来るようにしてくれと言ってしました．エリヤの祈祷はバアル崇拝者たちの狂乱の踊りと祈祷に比べてすごく手短だったが神様が一気に彼の祈祷を回答して下さいました．

三番目で、エリヤは人々が神様だけ仕える，自分が神様のしもべで神様のお話どおり行うということが分かるために祭壇の上に借しまず水を注ぎました．

その頃状況では水が大変珍しかったです．それなのにエリヤは水を１２かめも注ぎました．エリヤがこのように 燔祭とたきぎの上に１２かめを注ぐようにしたことは火が自然発火されたとかまやかしになったのではなく神様の役事になったことなのをはっきりとするためだからです．偶像崇拝する者等が悔い改めて神様位に出て来るようにするために降り注ぐ犠牲と献身，人々に神様が分かるようにするための犠牲と献身は無駄使いではないです．結局エリヤの祭壇の上にエホバの火が下って燔祭と木と石と土を焼いたしみぞの水をひとしずくも残さないで乾かしてしまいました．

四番目で、エリヤは神様が雨を降ってくださることを確信して祈る一方状況の変化を察した後適切に備えました．

エホバの火が下って燔祭を焼くこの驚くべきな光景を見た民たちが地にひざまして“エホバは神様だなエホバは神様だな．”と叫びました．エリヤはその勢いを駆って民たちにバアル予言者たちを皆取るようにして彼らをギソン川のほとりに連れて行ってそこで殺しました．そんな後エリヤはアハブ王に “もう上がって食べて飲んでください．私の耳に大雨の音が聞こえます．” と言いました．これは神様の約束に基づいた信仰から出た言葉です．エリヤは手ほどの小さな雲を見たがアハブ王に雨に支えないように馬車を取り揃えて下がるように促しました．エリヤはやや小い変化でも大雨が降る光景を見ました．少し後に雲と風が起きて空がまっ暗になったら遂に大雨が降り始めました．聖徒の皆さんもエリヤのように神様の役事なさることを注意深く察して神様がくださる回答をよく受けて享受してください．

今日は予言者エリヤが聖なる偉い決断を下して実践する姿をよく見ながらいろいろ貴重な教訓を得ました．皆さん皆がエリヤを見習うことにして聖なる偉い決断を下して実践する者になるように願いします．